

第1 平成13年度決算の状況

1 決算のあらまし

本県の平成13年度当初予算は、公債費等、義務的経費の増加が予想される厳しい財政状況のなかで、一般会計予算の前年度当初予算との比較では、対前年度比0.3%の減となりました。

このような中にあっても、国の「改革先行プログラム」などを実施するために編成された補正予算に対応した県の緊急雇用対策等を行うため、12月補正予算を編成し対応しました。また、2月補正予算では、国が「改革推進公共投資」特別措置を実施するため編成した補正予算に対応し、民間投資の拡大または地域における就業機会の拡大を図るため緊急に実施する必要がある事業を行うための措置を講じました。

その結果、平成13年度決算の状況について、一般会計、特別会計及び企業会計ごとに収支状況をみますと、表1のとおり、一般会計における決算は、歳入は、前年度に比べて2.9%減の約8,252億円、歳出は、前年度に比べ2.3%減の約7,988億円となりました。このため、歳入と歳出の差引額である形式収支は、264億円の黒字となり、形式収支から翌年度に繰越すべき財源、約183億円を差し引いた実質収支は、約81億円の黒字となっています。

また、特別会計では、歳入は前年度に比べ3.5%減の約441億円、歳出は前年度に比べ6.5%減の約371億円となり、形式収支は約71億円の黒字、実質収支は約51億円の黒字となっています。

次に、企業会計の決算は、収益的収支における収入は、前年度に比べ2.0%増の約455億円、支出は前年度に比べ0.0%の約434億円となり、差引額は約21億円となっています。資本的収支における収入は、前年度に比べ7.7%減の約155億円、支出は前年度に比べ3.3%増の約261億円となり、差引額はマイナス約106億円となっています。

なお、各会計ごとの平成4年度からの決算の推移については、巻末資料1を、また一般会計と特別会計における実質収支額の推移については巻末資料2をご覧ください。

表1 3会計決算収支状況

(単位：千円、%)

	一 般 会 計					特 別 会 計				
	歳 入		歳 出		差引額 A-B	歳 入		歳 出		差引額 A-B
	決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率		決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率	
平成12年度	850,048,510	△0.2	817,250,045	0.9	32,798,465	45,727,362	1.7	39,655,409	0.0	6,071,954
平成13年度	825,241,278	△2.9	798,828,561	△2.3	26,412,717	44,143,895	△3.5	37,064,986	△6.5	7,078,909

	企業会計（収益的収支）				差引額 A-B	企業会計（資本的収支）				差引額 A-B
	収 入		支 出			収 入		支 出		
	決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率	決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率		
平成12年度	44,597,555	4.0	43,351,280	2.2	1,246,275	16,758,271	△8.8	25,255,215	△9.1	△8,496,944
平成13年度	45,502,936	2.0	43,369,253	0.0	2,133,683	15,472,188	△7.7	26,091,003	3.3	△10,618,815

(注) マイナスを「△」印で表示し、以下、同様に表示します。

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)